

## 人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」 近畿大学附属中学校が全学年に「すらら」を導入 「すらら」を活用しアダプティブ・ラーニングの取り組みを開始

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：湯野川孝彦 以下、すららネット）が開発・提供および運用コンサルティングを行うクラウド型学習システム「すらら」は、近畿大学附属高等学校・中学校（所在地：大阪府東大阪市 校長代行：森田哲）の中学校全生徒約 880 名に対し、2017 年 4 月より一斉導入されます。

この度、「すらら」を中学校全学年で導入するに至ったのは、ICT を活用した取り組みとしてアダプティブ・ラーニング（適応学習）を取り入れるためです。

近畿大学附属高等学校・中学校では、これまでも全学年に iPad®を導入し、ICT を活用した反転授業やアクティブラーニングなど様々な授業形態に取り組んできています。しかし、生徒の学力差に対応し学力を更に向上させるためには、一人ひとりの学力に応じた指導の高度化が重要となってきました。

そこで、今回、「すらら」を授業や家庭学習の教材として活用し、教員の負荷を増やすことなく、個に対応する学習を与えることを実現していきます。

従来のプリントやドリルによる一律の課題では、上位層には物足りず、下位層には難しく解答することができないという状態になりがちです。学力の向上のためには生徒への個別対応が欠かせませんが、「すらら」を活用することで、一人ひとりの学力に応じた指導の高度化をはかります。

### 【「すらら」の具体的な活用方法】

「すらら」が提供するオンラインのテストを授業や单元ごとに受験し、明らかになった個々の弱点を抽出し、ひとりひとりに合わせた課題を設定し、復習を行わせます。

### 【校長代行 森田 哲 様コメント】

本校では、ICT の導入によって、これまでの授業形態を大きく変えた様々なチャレンジをしていますが、そのために基礎学力の定着が疎かになっては本末転倒です。

「すらら」を導入することで、生徒一人ひとりが自分に合った課題に取り組み、自ら学んで力をつけてくれることを期待しています。eラーニング・システムによる指導を成功させるには、生徒に伴走する教員と、更にそれを支えるサポート体制が不可欠であると考えます。優れたシステムと、学校との信頼関係を構築するノウハウを併せ持つ「すらら」によって、その効果が目に見える形になるのを楽しみにしています。

すららネットは、2005 年より 100 校を超える学校の ICT 導入支援を行い、定量的な成績向上を実現して参りました。そこで培ってきたノウハウも合わせて提供することで、単なる教材の導入にとどまらない学力向上を実現してまいります。

すららネットの「すらら」は、個に対応できるアダプティブな先進機能などを評価され 2012 年に「日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞」を受賞しています。また、近畿大学附属高等学校も、ICT を活用した先進的な取り組みを評価され、2013 年に同賞を受賞しました。

今回は、両者が協力することで、ICT を活用して、学校でありながら、きちんと個に対応できる新しい学校の運営スタイルを開発してまいります。

## ■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校 3 年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 34,000 名（2016 年 6 月末現在）

【特徴】

### ○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1 つの単元は 10 から 15 分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

### ○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

### ○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月 1 回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週 1 回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでの e ラーニング教材の大半は以下の 3 パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ  
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ  
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ  
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



## ■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

## ■「すらら」における“人工知能”

AI が生徒の学習データに基づき先生の替わりに生徒と対話を行う機能「AI サポーター」を搭載し、生徒のモチベーションに与える効果について慶応義塾大学 中室牧子研究室と共同研究を実施中。

### ■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008 年 8 月 ○ 資本金：13,795 万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>
- 受賞歴：
  - ・ 第 9 回日本 e-Learning 大賞 文部科学大臣賞(2012 年)
  - ・ Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞(2014 年)
  - ・ 第 2 回「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞（審査委員会特別賞）（2016 年）
  - ・ 第 8 回「千代田ビジネス大賞」大賞(2016 年)